

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成24年9月13日(2012.9.13)

【公開番号】特開2011-141634(P2011-141634A)

【公開日】平成23年7月21日(2011.7.21)

【年通号数】公開・登録公報2011-029

【出願番号】特願2010-869(P2010-869)

【国際特許分類】

G 06 Q 10/06 (2012.01)

G 06 F 3/048 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/60 174

G 06 F 3/048 651 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月26日(2012.7.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の情報提供装置とネットワークを介して接続され、前記複数の情報提供装置それから受信した情報を表示する情報統括表示装置において、

前記ネットワークと接続し、前記情報を受信する手段と、

受信した前記情報を構成する複数の項目それぞれについて、当該項目の新しさを示す鮮度を算出する手段と、

算出された前記鮮度に応じて、受信した情報に関連する内容を表示する手段とを有することを特徴とする情報統括表示装置。

【請求項2】

請求項1に記載の情報統括表示装置において、

過去に受信した情報を格納する手段をさらに有し、

前記算出する手段は、受信した前記情報と、前記過去に受信した情報を比較し、当該比較結果に応じた、前記鮮度を算出することを特徴とする情報統括表示装置。

【請求項3】

請求項2に記載の情報統括表示装置において、

前記格納する手段は、所定期間ごとに情報を格納しておき、

前記算出する手段は、前記比較の結果より新しい期間の情報と一致するものほど、より新しい鮮度として算出を行うことを特徴とする情報統括表示装置。

【請求項4】

請求項3に記載の情報統括表示装置において、

前記算出する手段は、前記期間のうち現時点の存在する期間に受信した情報と受信した前記情報を比較し、当該比較の結果一致しない場合、前記現時点の存在する期間より古い期間の情報との比較を行い、当該比較を一致するまで繰り返すことを特徴とする情報統括表示装置。